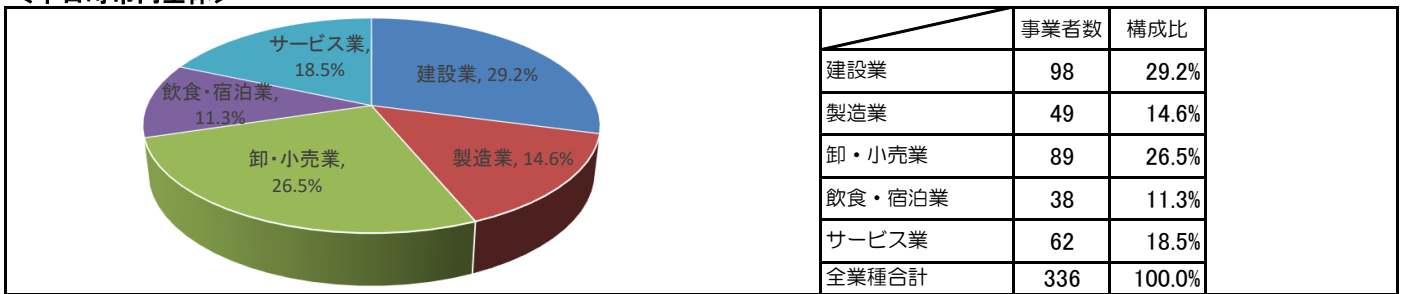


十日町市地域 企業景況調査 第1四半期報告書 (R5.4.1~R5.6.30) 川西地区

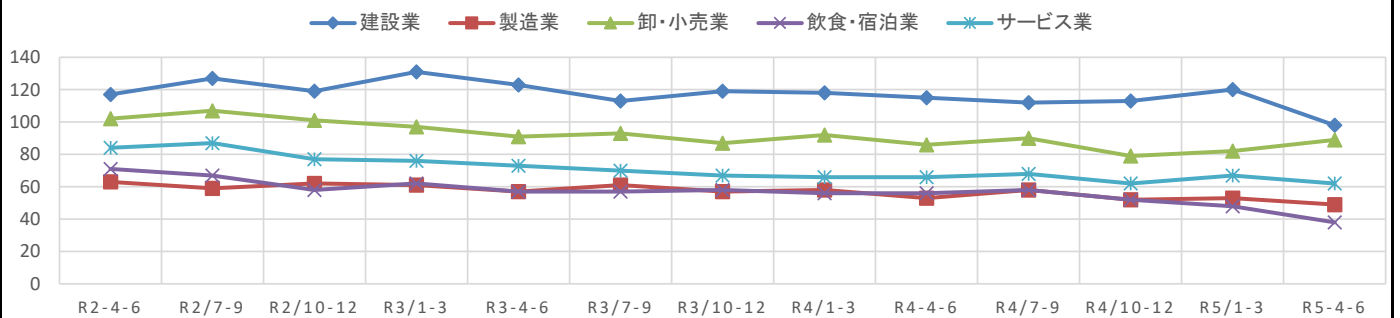
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



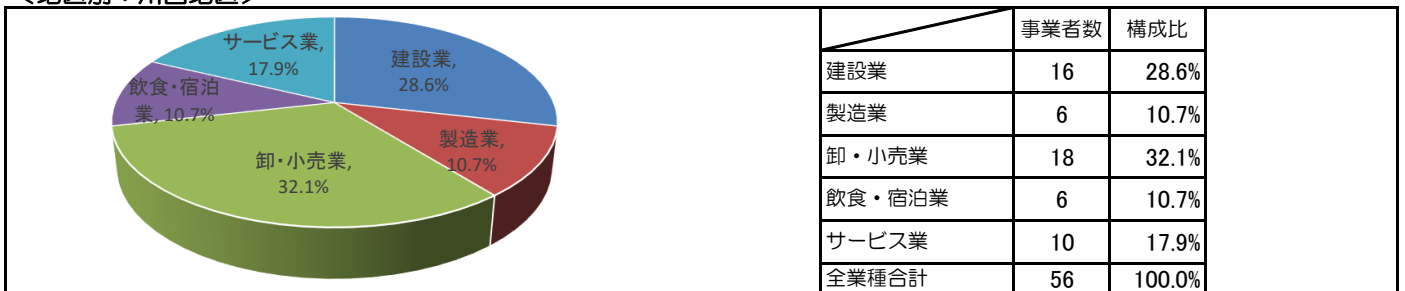
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



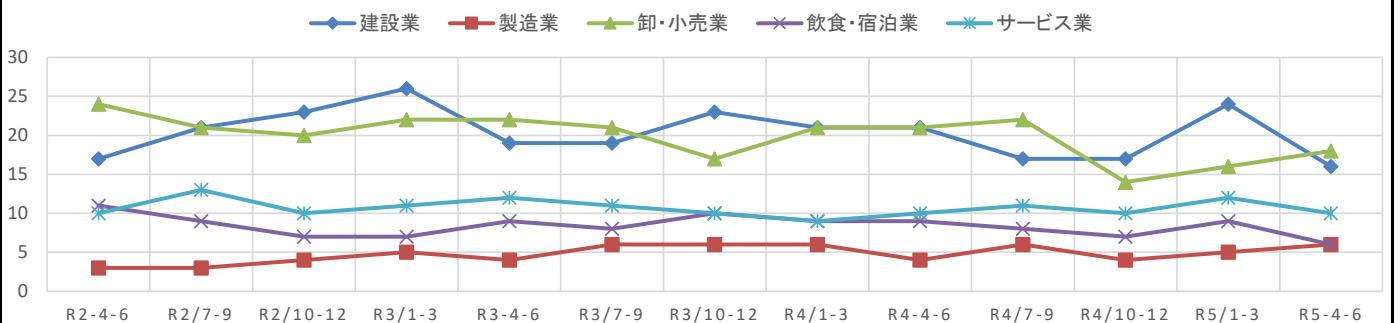
<コメント>

今回の調査は、十日町市内336事業所から回答を得られ、前回調査よりも34事業者減少している。建設業についての減少が目立つ形となった。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

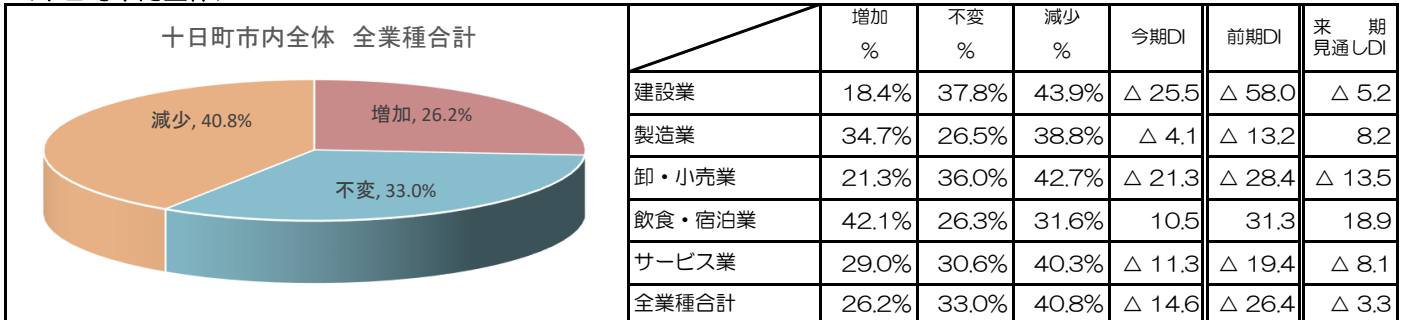
川西地区の今回の調査回答状況は、商工業者100社に調査依頼をし、56社（回収率56%）からの回答をもとにした集計結果である。全業種で回答数・回答割合に変動があり、今回の調査では卸・小売業からの回答割合が最も高くなっている。

$$DI \text{ 値 (景況判断指数)} = (\text{増加} \cdot \text{好転などの回答割合}) - (\text{減少} \cdot \text{悪化などの回答割合})$$

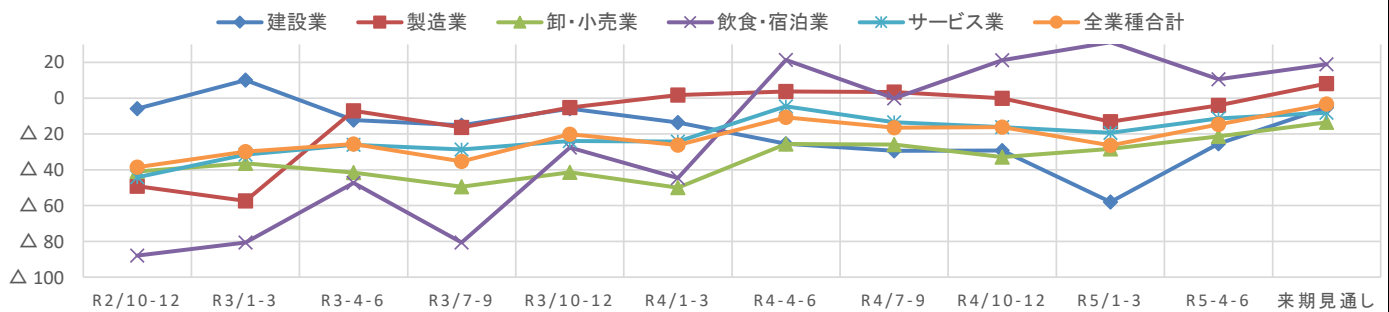
1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



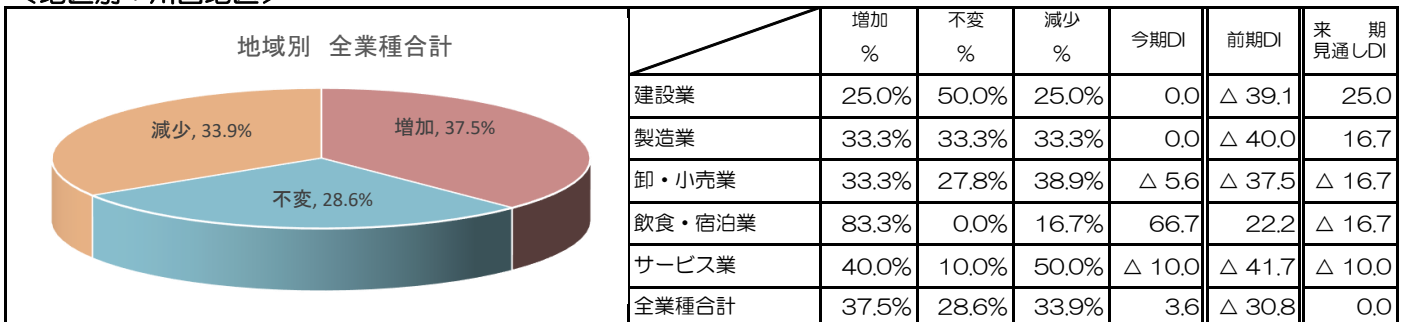
業種別売上の推移(市内全体)



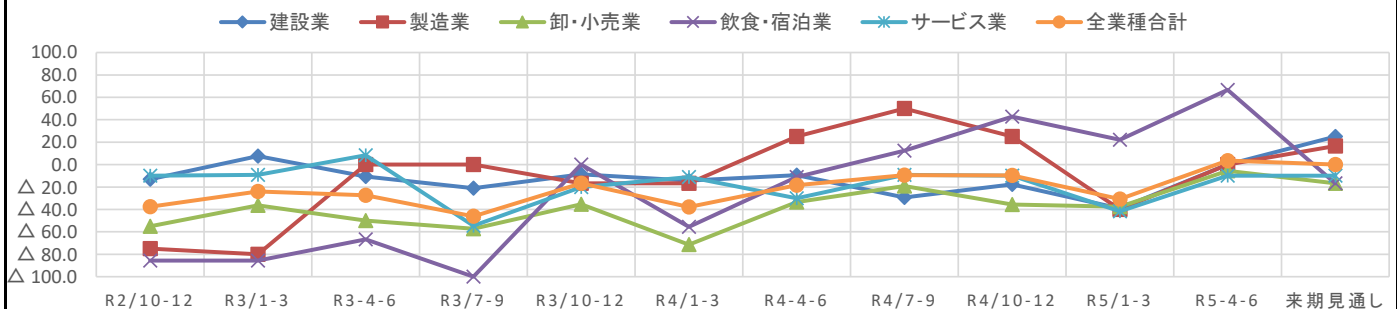
<コメント>

十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△14.6ポイントで、前回調査時よりも11.8ポイント上昇となっている。飲食・宿泊業以外の業種でDI値が上昇した。来期見通しでは製造業以外の業種で上昇予想となっており、全業種DI値においても上昇する見通しとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移(地区別)



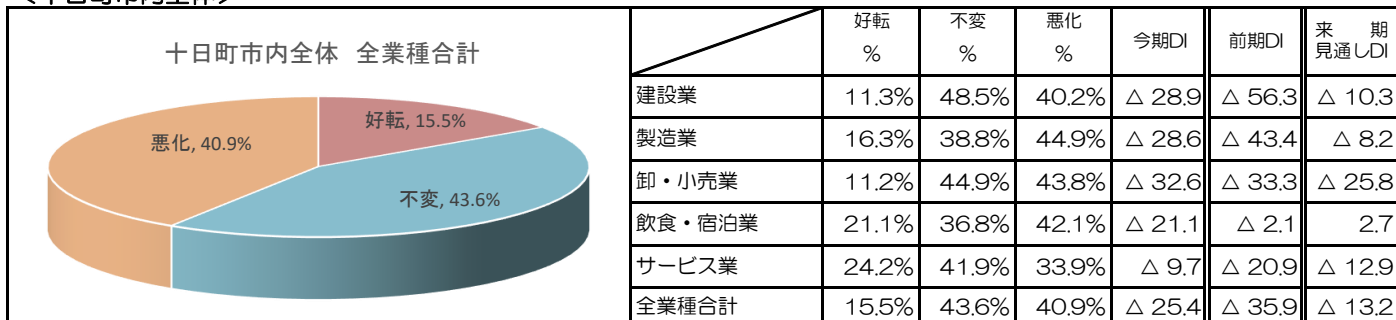
<コメント>

川西地区の今期の売上状況は、全業種合計で3.6ポイントとなっており、前回調査から34.4ポイント上昇している。全業種でDI値が上昇した。来期については、卸・小売業以外の業種で上昇または不変の見通しとなっている。

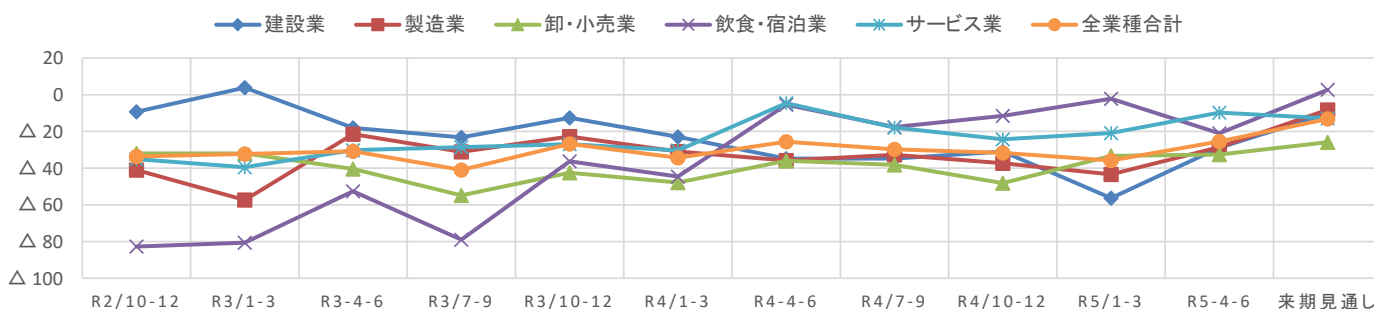
2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

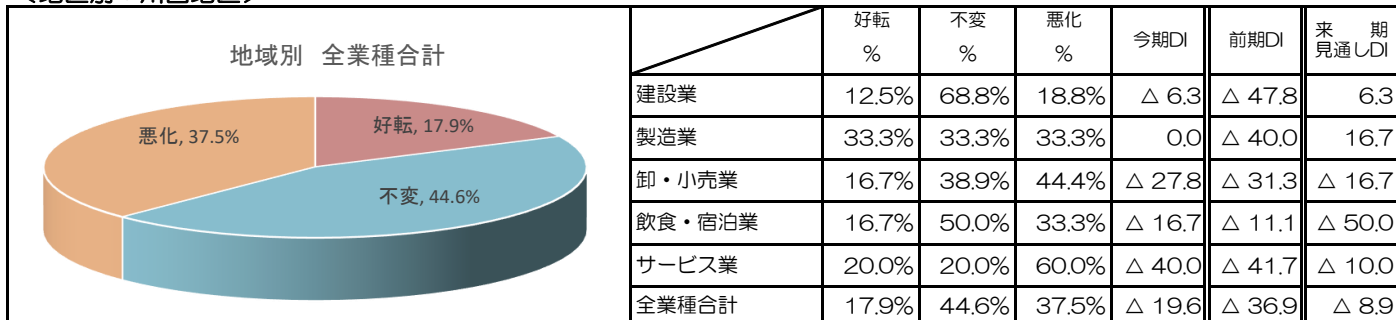


業種別採算の推移(市内全体)

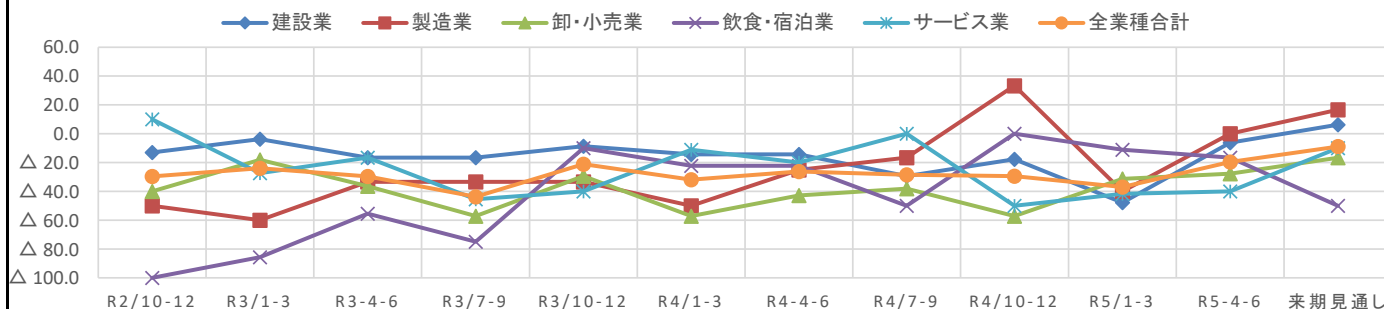


<コメント>十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△25.4ポイントで、前回調査より10.5ポイント好転している。特に建設業での好転が大きく、全体の数値を押し上げた。しかし、飲食・宿泊業では採算面で不安を抱える状況が示唆された。来期見通しでは、サービス業以外の業種において好転予測となり、全業種DI値においても好転見通しとなる。

<地区別：川西地区>



業種別採算の推移(地区別)

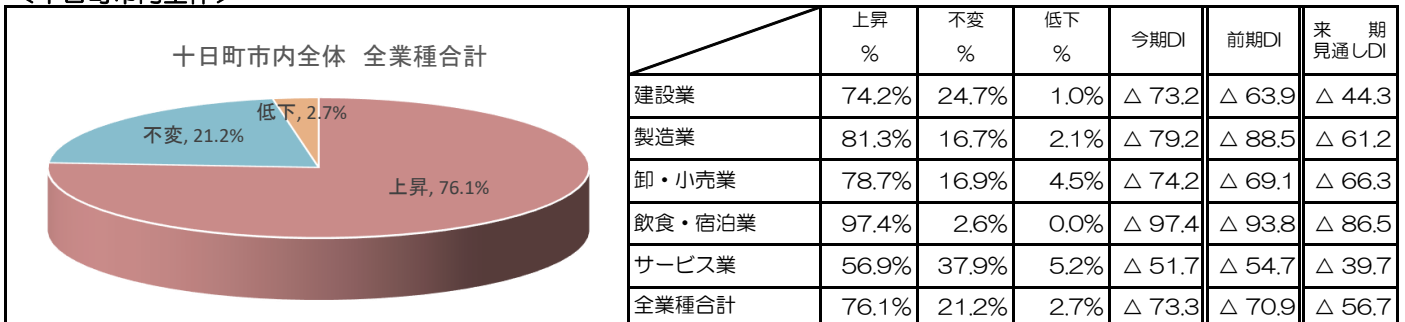


<コメント>川西地区の今期の採算状況は、全業種合計で△19.6ポイントとなっており、前回調査より17.3ポイント上昇している。飲食・宿泊業では悪化が見られた。来期では、飲食・宿泊業以外の業種において好転の見通しとなり、全業種DI値においても好転の見通しとなる。

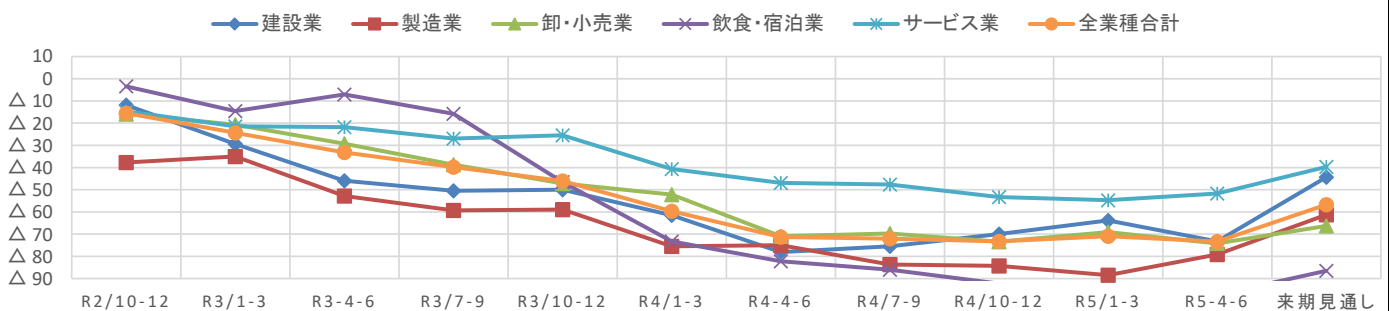
3. 仕入単価について

- ・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

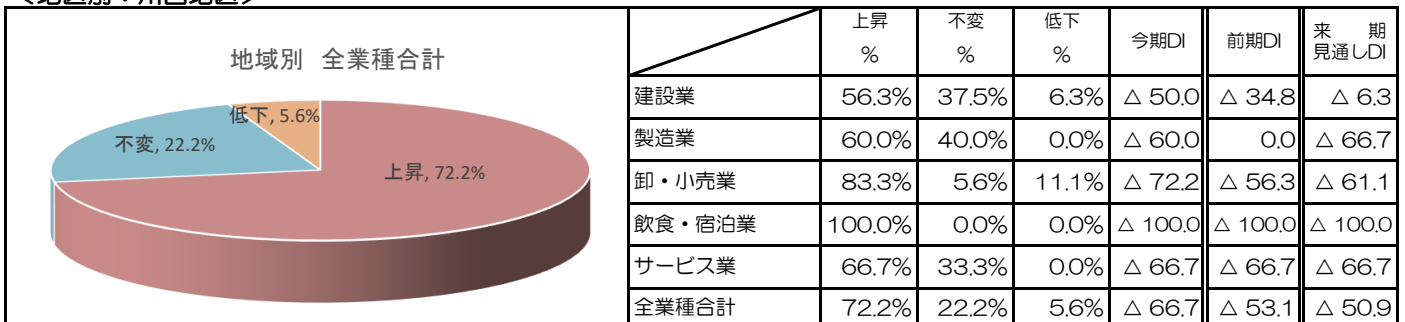


業種別仕入単価の推移(市内全体)

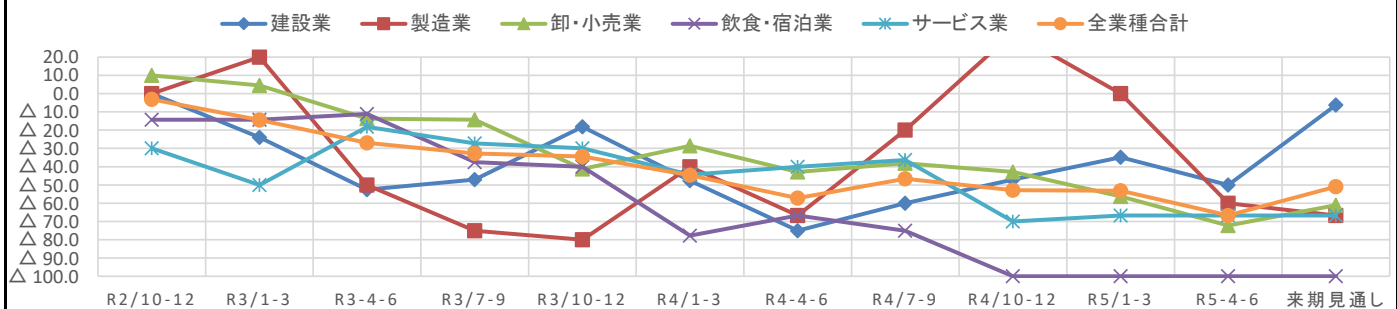


<コメント>十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△73.3ポイントで、前回調査時よりも2.4ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。製造業・サービス業以外の業種において上昇しており、原料、資材、燃料高騰の影響は未だ続いていると見られる。来期見通しは、今期よりも仕入単価が低下する見通しであるが、以前として動向には、注視する必要がある。

<地区別：川西地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)

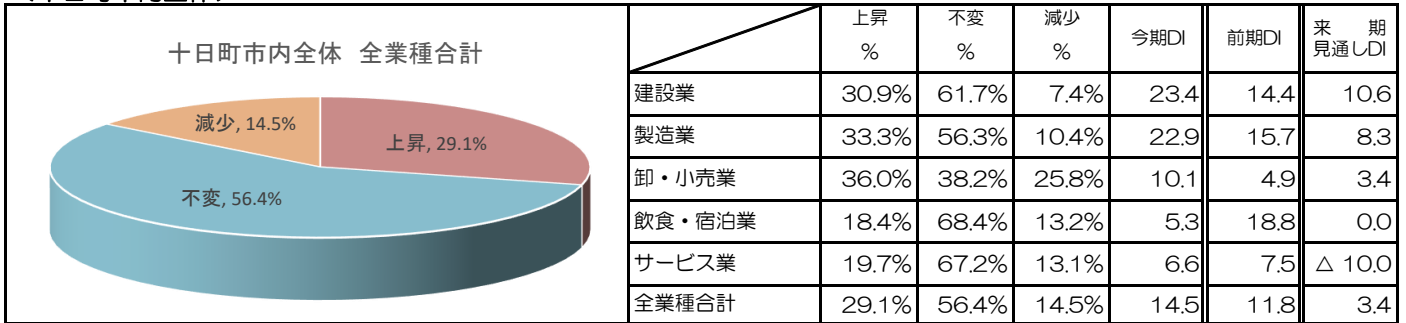


<コメント>川西地区の仕入れ単価状況は、全業種合計で△66.7ポイントとなっており、前回調査時よりも13.6ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。飲食・宿泊業とサービス業については横這いだが、それ以外の業種において上昇しており、厳しい状況となっている。来期見通しとしては、建設業、卸・小売業で単価低下が進み、全業種DIについても単価が低下する見通しとなっている。

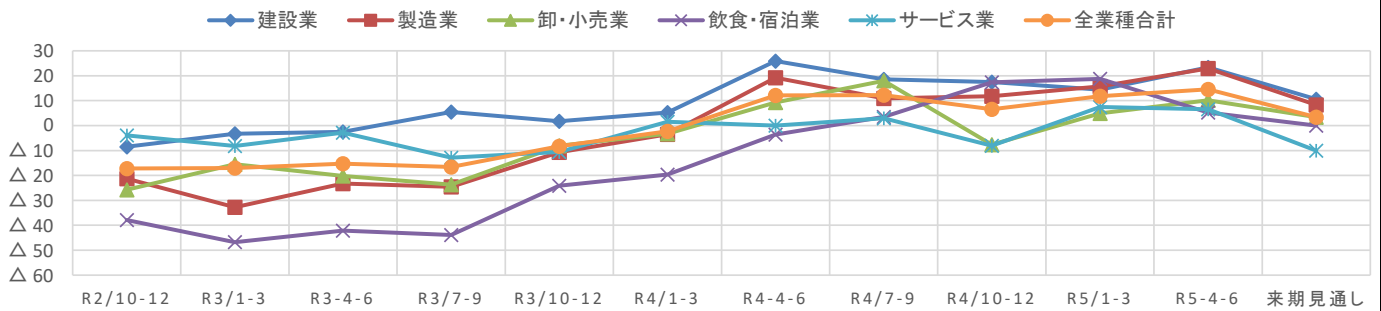
4. 販売（客）単価について

- ・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



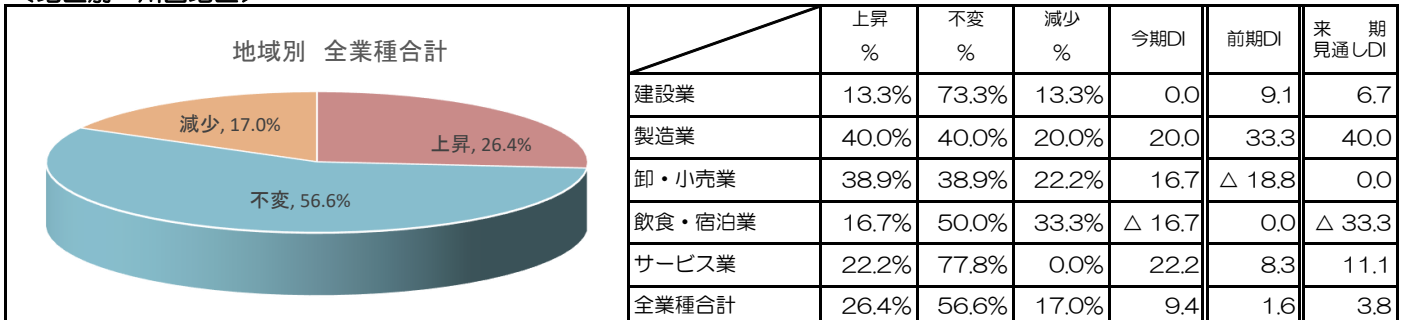
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



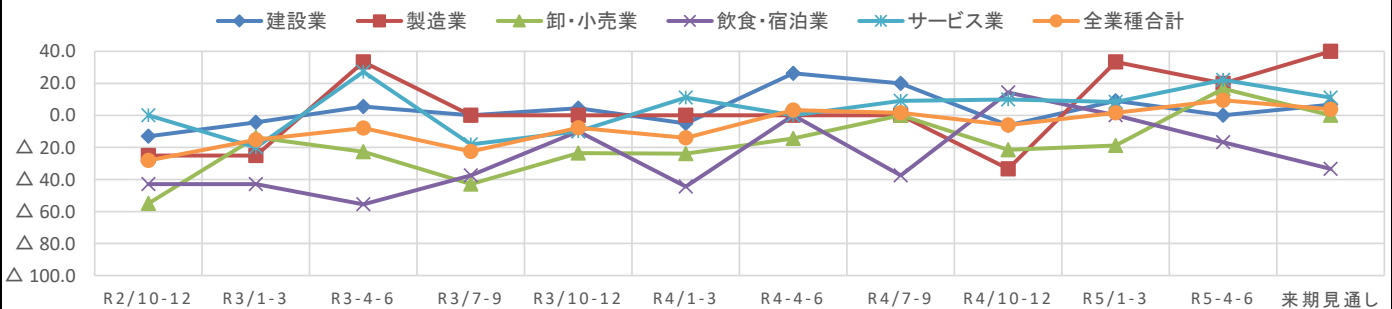
<コメント>

十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で14.5ポイント、前回調査時より2.7ポイント上昇している。飲食・宿泊業、サービス業以外の業種で上昇という形となった。来期に関しては、全業種で低下予測となっている。

<地区別：川西地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



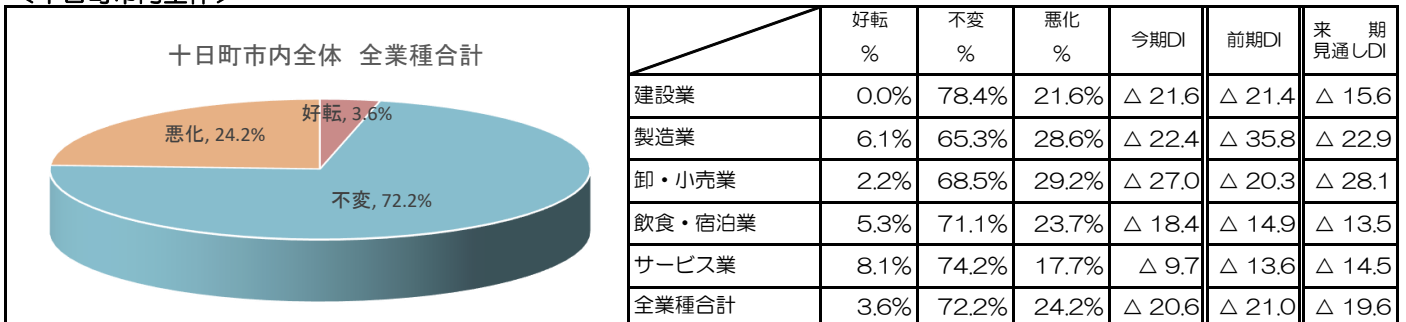
<コメント>

川西地区の今期の販売（客）の単価の状況は、全業種合計で9.4ポイントとなっており、前回調査時と比較して7.8ポイント増加している。卸・小売業とサービス業で上昇が見受けられた。来期に関しては、卸・小売業、飲食・宿泊業、サービス業において減少の見通しとなる。全業種DI値については低下の予測となっている。

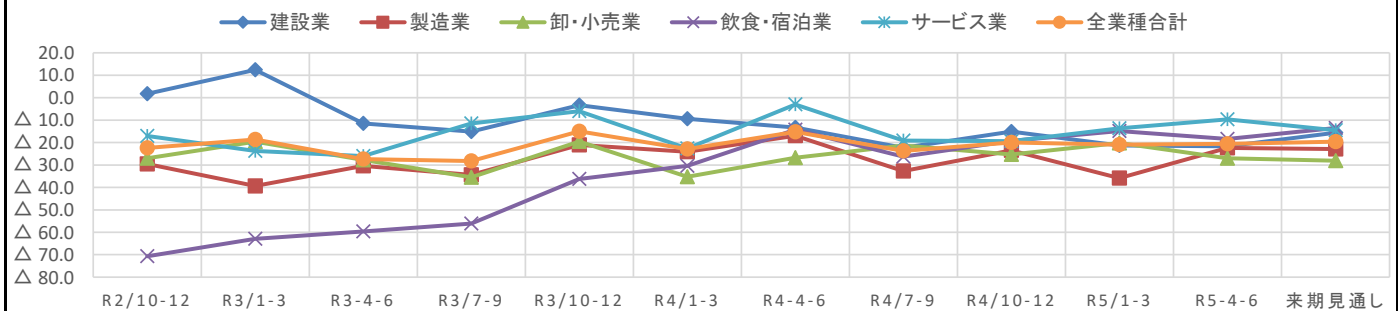
5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



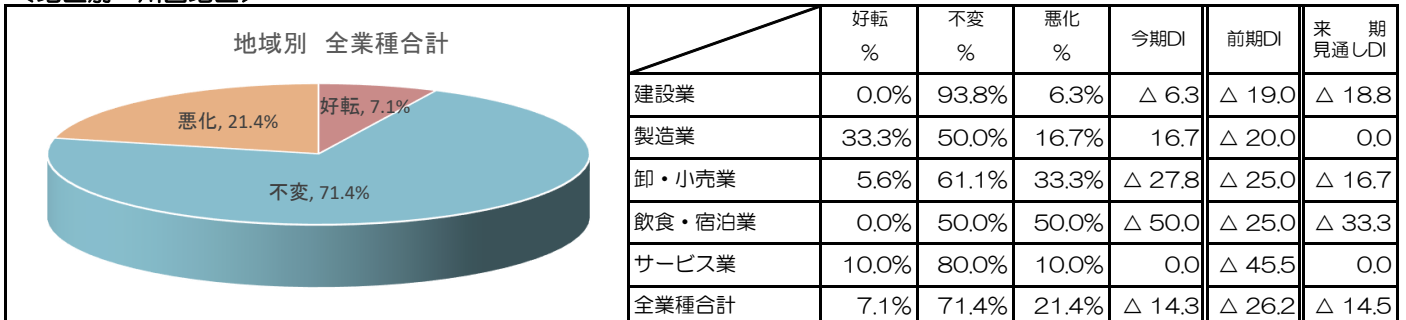
業種別資金繰りの推移(市内全体)



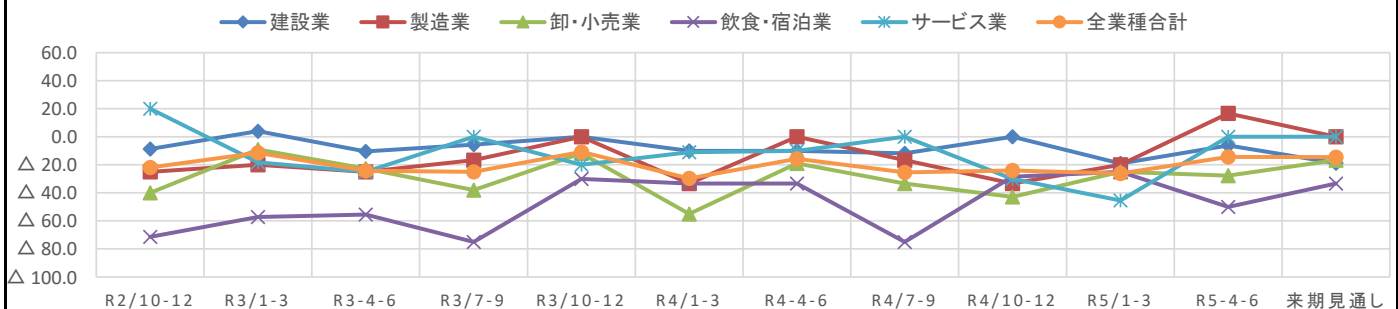
<コメント>

十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△20.6ポイントで、前回調査時より0.4ポイント好転している。特に製造業での好転の割合が大きかった。来期見通しとしては、建設業、飲食・宿泊業以外の業種で悪化予測となるものの、全業種DI値については改善する見通しとなる。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



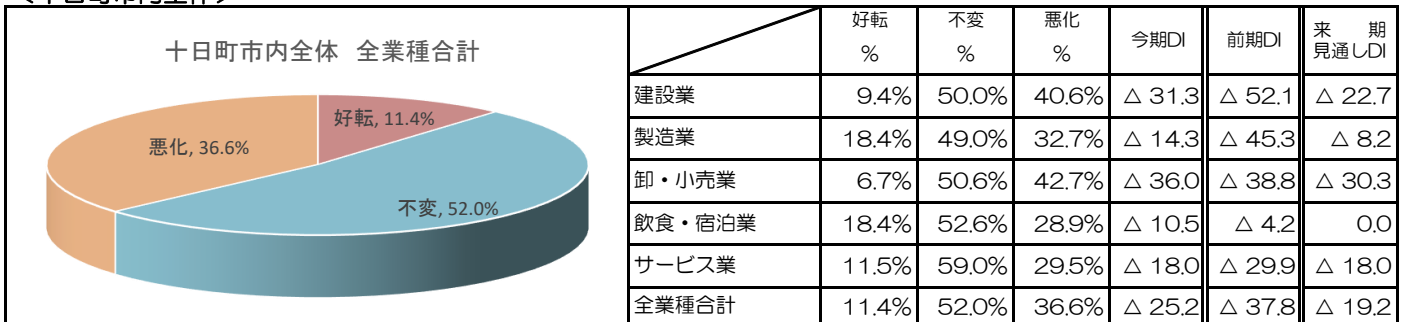
<コメント>

川西地区の今期の資金繰り状況については、全業種合計で△14.3ポイントとなっており、前期と比較して11.9ポイント好転している。製造業での好転の割合が大きい一方で、卸・小売業、飲食・宿泊業の資金繰りの悪化した。来期見通しは、建設業で悪化予測となり、全業種DI値についても悪化の見通しとなる。

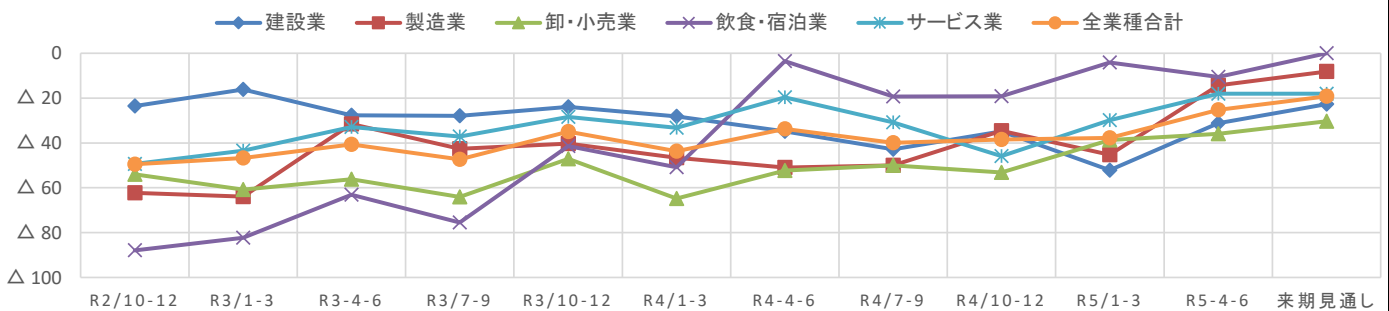
6. 景況判断について

- ・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



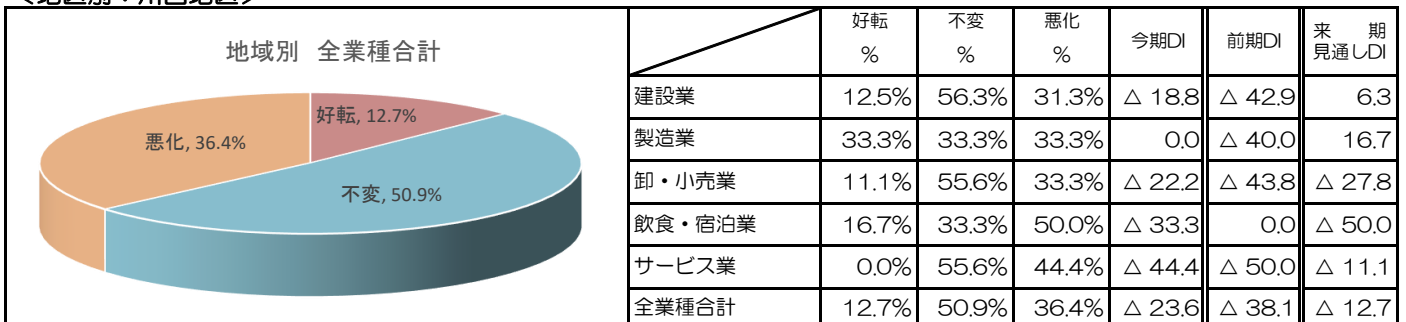
業種別景況判断の推移(市内全体)



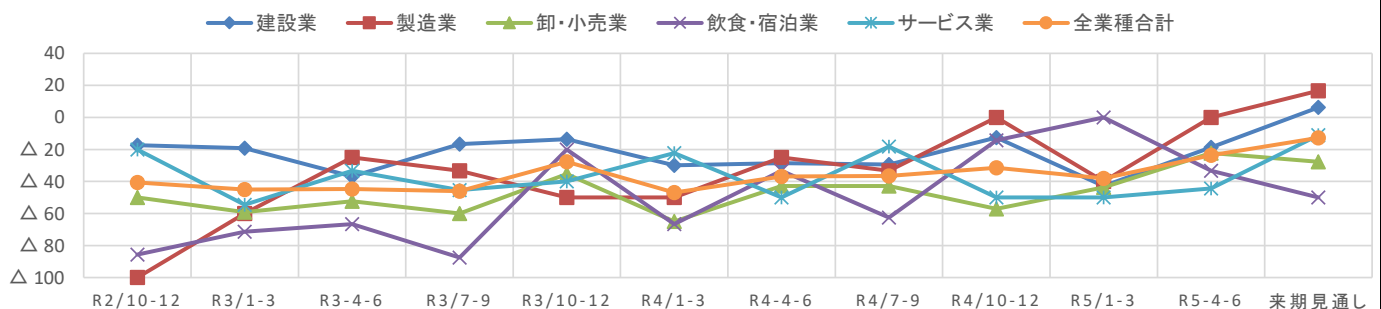
<コメント>

十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△25.2ポイントで、前回調査時よりも12.6ポイント好転している。飲食・宿泊業では厳しい見方となっているが、その他の業種では好転となった。来期見通しは、サービス業以外の業種で好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しである。

<地区別：川西地区>



業種別景況判断の推移(地区別)



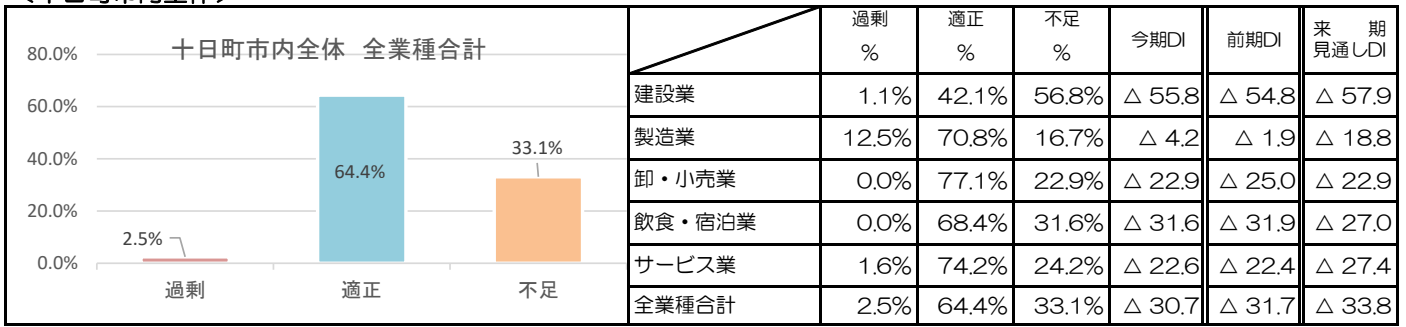
<コメント>

川西地区の今期の景況判断は全業種合計で△23.6ポイントとなっており、前回調査時より14.5ポイント好転している。飲食・宿泊業では厳しい見方となっているが、そのほかの業種では好転となった。来期の見通しは卸・小売業と飲食・宿泊業以外の業種で好転の予測であり、全業種DI値についても好転の見通しとなる。

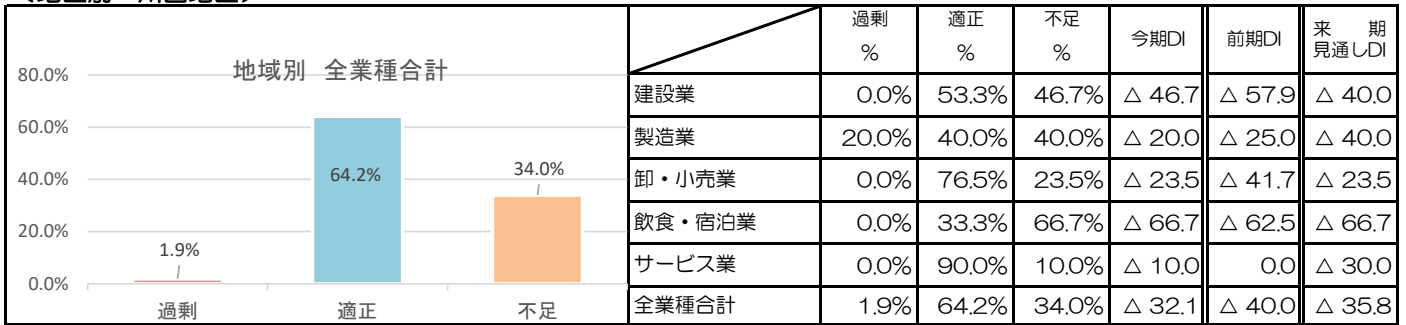
7. 従業員数について

・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



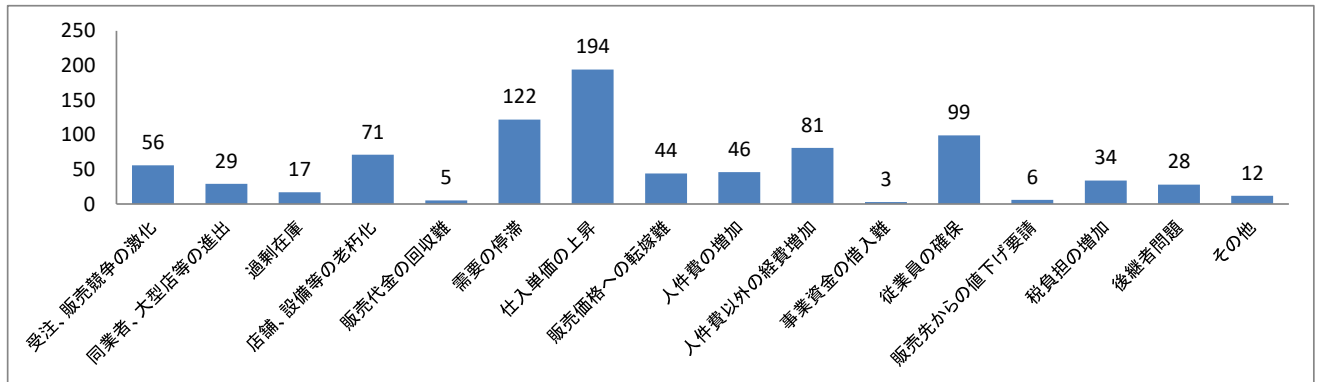
<地区別：川西地区>



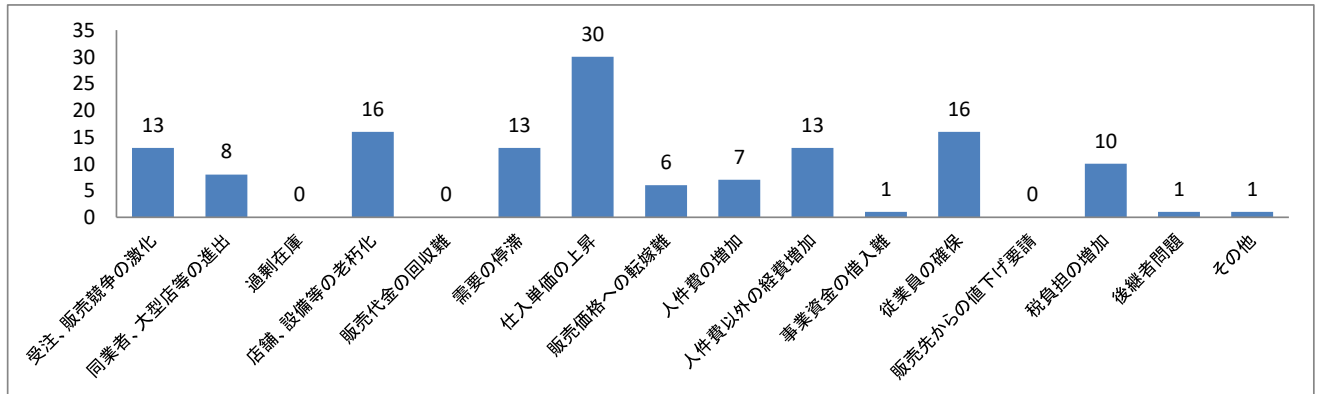
<コメント> 今期の従業員数(雇用動向)は、前回調査時より過剰回答が1.7%減少、適正回答が4.6%増加、不足回答が2.9%減少している。川西地区の状況については過剰回答が0.1%増加、適正回答が7.8%増加、不足回答が7.8%減少しており、DIは前回調査より7.9ポイントの改善となっている。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：4月～6月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>

今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の確保」となり、前回調査と主要な3項目は同じであった。川西地域の経営上の問題は、1位「仕入単価の上昇」、同率2位「店舗、設備等の老朽化」、「従業員の確保」と市内全体と概ね同様の回答となった。

9. 地区の景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

<p>【建設業】 建設業では、経営上の問題点として「従業員の確保」、「仕入単価の上昇」が上位を占めた。「従業員の確保」については、前回の調査時も上位に上がった。売上を含む各質問項目については多くの項目で悪化傾向であった。来期見通しとしては、全体的に不変または改善の見通しとなっている。</p>
<p>【製造業】 製造業においては、経営上の問題点として「仕入単価の上昇」、「店舗、設備等の老朽化」が挙げられた。売上を含む各質問項目については、多くの項目で横這いの傾向が見られた。来期の見通しとしては横這いもしくは改善との見方が強くなっているが、仕入単価や販売単価の低下は難しいという見通しである。</p>
<p>【卸・小売業】 卸・小売業では、経営上の問題点として、1位「仕入単価の上昇」、2位「受注、販売競争の激化」の順に多く挙げられ、影響を感じている事業者が多くなっている。売上を含む各質問項目については多くの項目で悪化傾向であり、来期の見通しについても悪化との見方が強くなっている。特に仕入単価の低下については、依然として厳しいという予測となった。</p>
<p>【飲食・宿泊業】 飲食・宿泊業においては、前回に引き続き経営上の問題点として「仕入単価の上昇」、「店舗、設備等の老朽化」、「税負担の増加」が上位にあげられた。売上を含む各質問項目については、全体的に悪化が目立った。また、前回に引き続き仕入単価においては全ての事業者が上昇したとの回答をしている。来期見通しでも仕入単価の低下は依然として難しいという見通しとなっている。</p>
<p>【サービス業】 サービス業では、経営上の問題点として「店舗、設備等の老朽化」、それに次いで「需要の停滞」、「仕入単価の上昇」が上位に挙げられた。またその他の幅広い項目を問題点としてあげる事業者も多く、多方面に課題を抱える事業者が全体として多いようである。売上を含む各質問項目については多くの項目で悪化傾向であり、来期の見通しについても悪化との見方が強くなっている。</p>